

市民ミュージカル

『丹鶴（にづる）』

〜御燈祭の日の気づき〜

2026 2 / 8 [SUN] 14:00 開演 (13:30 開場)

会場：新宮市文化複合施設  丹鶴ホール
TANKAKU HALL

〔入場料〕

全席指定 (税込) ・一般 / 1,000円 ・高校生以下 / 500円 ・丹鶴ホール友の会 / 900円

- ・2歳以下はひざ上鑑賞無料、お席が必要な場合有料。
- ・友の会特典は会館窓口、オンラインチケットサービスでのみ取り扱い。
- ・車椅子席をご利用の場合は、購入前に丹鶴ホールまでお問い合わせください。
- ・駐車場には限りがあるため、公共交通機関の利用や乗り合わせでのご来場にご協力ください。

〔チケット発売〕

【丹鶴ホール友の会先行受付日】12月6日(土)10:00～12月12日(金)21:00

※電話・オンライン受付のみ ※1会員につき4枚まで(割引は4枚まで)

【一般発売日】12月13日(土)10:00～

※発売初日、丹鶴ホールは電話・オンライン受付のみ

〔プレイガイド〕

- ・丹鶴ホールチケット窓口 TEL：0735-29-7223 (9:00～21:00) 休館日：月曜日(祝日の場合は翌平日)
- ・丹鶴ホールオンラインチケットサービス
- ・チケットぴあ (Pコード：538-359)
- ・福田時計店 TEL：0735-21-2177
- ・熊野川温泉さつき TEL：0735-44-0193 ※熊野川温泉さつきは 11:00～チケット販売

〔問い合わせ〕

新宮市文化複合施設「丹鶴ホール」
(指定管理者：株式会社ケイミックスパブリックビジネス)
〒647-0011 和歌山県新宮市下本町二丁目2番地の1
TEL：0735-29-7223 (受付時間 9:00～21:00)
休館日：月曜日(祝日の場合は翌平日)・年末年始(12月29日～1月3日)

主催：新宮市文化複合施設「丹鶴ホール」
(指定管理者：株式会社ケイミックスパブリックビジネス)
企画制作：新宮市文化複合施設「丹鶴ホール」
制作協力：一般社団法人熊野新宮ミュージアム
後援：新宮市、新宮市教育委員会

ご予約はこちら



オンライン
チケットサービス

『丹鶴（にづる）』

御燈祭の日の気づき

蘇りの地と言われる熊野

～少女が観た新宮のまちの伝説とは～

Story

新宮には丹鶴姫（後の鳥居禪尼）という源頼朝の叔母にあたる、女傑とも評される女性が

実在した。その姫の名前をいただいた「丹鶴」は、中学生になり友達にダンスチームに誘われる。

けれど、引っ込み思案で外に出ていくのが苦手なにづるは行動に移すことができない。

ある日、二の丸（丹鶴城跡）でのダンス練習にしぶしぶついて行ったにづるは、三本足のカラスを目にする…

このヤタガラスの道案内により新宮のいろいろな伝説地を巡り、新宮のことを知り、気づきももらい、

にづるは新たな自分を見つけていく…

キャスト

丹鶴（にづる）

倉橋 佐和

八咫鳥（やたがらす）

西庄 英二

丹鶴姫（たんかくひめ）

下岡 有希

丹鶴城の黒ウサギ

向井 倅音

浮島の森のおいの

奈須 里実

浮島の森の大蛇

川口 一央

浮島の森の観光客

森本 結子

熊野古道万歳峠の詣で人

早藤 真里
下岡 楓

友人たち（火の精も）

古藤 紬
野中 一乃
上平 ゆな

合唱団の皆さん

御燈祭の上り子他

新宮市文化複合施設「丹鶴ホール」

（指定管理者：株式会社ケイミックスパブリックビジネス）

<https://www.shingu-bunka.jp/>

〒647-0011

和歌山県新宮市下本町二丁目2番地の1

TEL：0735-29-7223（受付時間 9:00～21:00）

休館日：月曜日（祝日の場合は翌平日）・年末年始（12月29～1月3日）

・交通のご案内

JR 新宮駅から徒歩10分（最寄りバス停：丹鶴ホール前）

駐車場 車両：180台、大型バス：5台



会館 WEB サイトは
こちら

